

再評価結果（平成 19 年度事業継続箇所）

担当課： 沖縄総合事務局 道路建設課

担当課長名： 田中 衛

事業名 市道 41 号線	事業区分 地方道	事業主体 浦添市	
起終点 自： 沖縄県浦添市大平 至： 沖縄県浦添市安波茶		延長 0.75 km	
事業概要 市道 41 号線は県道 251 号線（那覇宜野湾線）を起点とし、市道安波茶沢岬線に至る延長約 1.2km の道路である。市道 41 号線の沿線は住宅地域であることから歩行者と自動車が錯綜するなど、危険な状況にある。また、今後は土地区画整理事業の進捗に伴い更なる交通環境の悪化が予想される。 本路線は安全な歩行空間の確保と交通の円滑化及び土地区画整理事業の整備を支援する役割を期待されている。			
H9 年度事業化	S42 年度都市計画決定 (H16 年度変更) H 8 年度都市計画決定 (H16 年度変更)	H10 年度用地着手	H13 年度工事着手
全体事業費	約 15 億円	事業進捗率	87%
計画交通量	4,600 台/日	供用済延長	0.25km
費用対効果 分析結果	B/C (事業体) 1.2 (残事業) 11.3	総費用 (残事業)/(事業全体) 1.8/17 億円 事業費: 1.8/17 億円 維持管理費: 0.04/0.15 億円	総便 益 (残事業)/(事業全体) 20/21 億円 走行時間短縮便益: 20/20 億円 走行費用減少便益: 0.54/0.55 億円 交通事故減少便益: 0.21/0.21 億円
事業の効果等		基準年 平成 18 年度	
・都市の再生（大宮・浦添南第二土地区画整理事業等の沿道のまちづくりとの連携） ・安全な生活環境の確保（歩道の設置による安全性向上） ・他のプロジェクトとの関係（浦添市道路整備プログラム）			
他 4 項目に該当			
関係する地方公共団体等の意見 ・平成 8 年 5 月大平自治会から安全で快適な道路環境の実現のため、早期整備の要請を受けている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・平成 16 年 3 月までに大宮土地区画整理事業地域内の市道 41 号線の整備が進み、交通量が増加傾向にある。 ・平成 18 年度より浦添南第二土地区画整理事業が着手される。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成 17 年度末までに 87% の用地取得を完了し、L=0.25km 2/2 供用済み。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 当初、地権者の理解を得るのに時間を要したが、現在事業に対する理解も得られる様になり 87% の進捗となっている。今後、継続して早期の土地取得と工事の完了を目指す。			
施設の構造や工法の変更等 特になし			
対応方針	事業継続		
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図 			

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。